

日本知財学会 第16回学術研究発表会

第4次産業革命時代の価値創造をもたらす知財経営 ～地域大阪から発信するイノベーション戦略～

日本知財学会の2018年度学術研究発表会が5年ぶりに大阪で開催されます。ビジネス・人材育成・地域創生を総合した観点から、知財分野のトップクラスのリーダーたちによる多彩な企画セッションを準備しています。多数の皆さまの振るってのご参加をお待ち申し上げます。

開催日時	12月1日（土）10:00～18:45 【懇親会】19:00～21:00 12月2日（日）10:00～17:10 ※詳細は裏面参照
場所	大阪工業大学 梅田キャンパス（OIT梅田タワー）（大阪市北区茶屋町1-45） 交通アクセス https://www.oit.ac.jp/rd/access/
事前申込	裏面記載の日本知財学会HPからお申し込みください（締切：11月19日）。
参加費 (2日間共通)	【知財学会会員・弁理士】事前 3,000円 当日申込 5,000円 【一般】事前 7,000円 当日申込 9,000円 【懇親会】事前 5,000円 当日申込 7,000円
後援	大阪商工会議所、関西経済連合会、近畿経済産業局、INPIT-KANSAI、日本知的財産協会、大阪弁護士会、大阪発明協会、知的財産管理技能士会
協賛	日本弁理士会

全体シンポジウム

日時：12月1日（土）16:00～18:45 場所：大阪工業大学梅田キャンパス3階 常翔ホール ※敬称略

挨拶	西村 泰志（大阪工業大学学長）／森 清（近畿経済産業局長）
基調講演I	「地域大阪から見た知的財産分野への期待（仮題）」 深野 弘行（大阪商工会議所 常議員／伊藤忠商事株式会社 常務理事／元特許庁長官） 
基調講演II	「質量分析による発見から知的財産・役立つ手法への発展（仮題）」 田中 耕一（株式会社島津製作所 シニアフェロー／田中耕一記念 質量分析研究所 所長） 
パネル討論 ・質疑	「経営に資する知的財産～知財を超える知財戦略（仮題）」 佐野 裕昭（住友電気工業株式会社 知的財産部長） 住田 孝之（知的財産戦略推進事務局 事務局長） 高崎 充弘（株式会社エンジニア 代表取締役社長） 渡部 俊也（東京大学教授/本学会会長） 小林 昭寛（大阪工業大学教授/大会実行委員長/モデレータ）

特別講演（企画セッション） 12月2日（日）15:30～17:00

【特別講演】裁判所からみた知的財産権訴訟
高部 真規子（知的財産高等裁判所 所長）



日本知財学会 第16回学術研究発表会 スケジュール

12月1日（土）大阪工業大学梅田キャンパス

※敬称略

10:30
～12:00

近時の裁判例の傾向分析および明細書の留意事項
(日本弁理士会協賛セッション) ※弁理士継続研修認定
講演者：桑城 伸語（弁理士 平成30年度特許委員会 副委員長）

知財の強み・弱みと顧客ターゲットの組み合わせに着目した知財評価技法による
模擬診断会議の公開実演と討論

大阪発のものづくりが障がい者コミュニケーションのイノベーションを起こす

12:20
～13:50

デザイン保護、デザインマネジメントとブランド形成

地域発信コンテンツの可能性

14:10
～15:40

金融システムと知的財産、事業性評価と知財評価

不競法改正とAI、ビッグデータ
～変化する知的財産とノウハウ・営業秘密・契約の将来～

知財専門人財と知財活用人財にそれぞれ求められる知識と知見は何か？
～知財人財育成の原点を再確認する～

10:00
～15:30

一般発表・学生発表

16:00
～18:45

【3F常翔ホール】シンポジウム（表面参照）

12月2日（日）大阪工業大学梅田キャンパス

※敬称略

10:00
～11:30

特許庁の「第四次産業革命」への対応

アグリビジネスと知財

11:50
～13:20

訴訟から見る知財戦略－企業に所属する知財管理技能士の観点から

中小企業に役立つ知的財産・知的資産の活用方法

首都圏と関西のビジネス環境の違いから考える“領域ごとの違い”

13:40
～15:10

関西企業発のイノベーションと知的財産

標準必須特許（SEP）ビジネスモデルの新たな模索

知財教育の新展開・中学校から高校への知財教育

15:30
～17:00

【特別講演】裁判所からみた知的財産権訴訟

講演者：高部 真規子（知的財産高等裁判所 所長）

特許情報検索分析・IPランドスケープ

10:00
～17:10

一般発表・学生発表

お申込み・お問合せ先

